



2018年5月1日(火)

第89回メーデー開催

第89回 メーデースローガン

平和・人権を守り、あらゆる差別をなくそう！

働く者のため働き方改革をすすめ、すべての仲間と結集しよう！

連合岩手「第89回メーデー」各地区開催予定

地区協名	開催名称	開催場所	開始時間	参加予定人員
岩手・盛岡	第89回岩手県中央メーデー	盛岡城跡公園(岩手公園)広場	10:30～	3,000人
花巻北上	第89回花巻北上和賀地区メーデー	北上市「さくらホール」大ホール	9:30～	700人
胆江	第89回メーデー胆江地区集会	胆沢文化創造センター 大ホール	13:30～	800人
一関	第89回一関地区メーデー	一関市「文化センター」中ホール	10:00～	300人
気仙	第89回気仙地区メーデー	大船渡市「盛川河川敷公園」	10:30～	300人
釜石・遠野	第89回釜石地区メーデー	釜石市「釜石市民ホール」	18:00～	350人
釜石・遠野	第89回遠野地区メーデー	遠野市「遠野市民センター体育館」	13:30～	70人
宮古	第89回宮古地区メーデー	宮古駅前西広場	10:00～	200人
県北	第89回二戸地区メーデー集会	二戸市「二戸教育会館」	18:15～	100人
県北	第89回久慈地区メーデー集会	久慈市「巽山公園」	15:00～	100人

昨年のメーデーの様子



岩手県中央メーデー



力作のデコレーション・プラカード

メーデーの歴史

メーデーは、1886年5月1日に米国の労働者が8時間労働を求めゼネストに立ちあがったのを起源とします。

日本では1920年5月2日に第1回メーデーが東京上野公園で開かれましたが、1936年におきた「2.26事件」を契機にメーデーは禁止されました。第二次世界大戦後、メーデーは労働組合の復活とともにすべての労働者が手をつなぎ、平和とゆたかな生活を求めて集う労働者の祭典として再び開かれるようになり、労働者の地位や労働条件の向上、人権・労働基本権の確立、民主主義の発展に深く貢献してきました。

<メーデー参加は年次になりました>

メーデーへの参加に対して、高教組、岩教組、県職労等で組織している岩手県地方公務員共闘会議（地公共闘）は、以前は職務専念義務免除（職専免）の取り扱いを要請してきました。しかし県は2009年4月の交渉において、①公務員の勤務・ふるまいに厳しい意見がよせられていること②県段階で職専免扱いをしているのは東京都、島根県、岩手県のみであること、を理由に「職専免取扱いを廃止したい」との回答を行いました。

地公共闘は「メーデーの意義は失われていない。ワークライフバランスや労働時間短縮という国の方針に合致している。メーデー10日前の今の時期に変更があれば職場は混乱する」などを主張し、例年通り職専免扱いとすることを強く求めました。その結果、人事課は「メーデーの意義は十分理解している。」としつつも、「職専免での参加は今年度（09年度）限り」という通知を出しました。

地公共闘はその後も粘り強く交渉を重ねましたが、県の判断は変わることはなく、**10年度以降のメーデー参加は職専免扱いではなく、年次となりました。**

メーデーはすべての労働者が手をつなぎ、平和と生活の安定を求めて集う労働者の祭典です。職専免ではなくなりましたが、各分会では従来通り全職員の2割を目標に、各地区メーデーへに参加しましょう。



高教組約90人の参加（中央メーデー）



多忙化解消を訴えました